

ゆい! のひろば



宮古島市教育委員会
広報誌

第45号

2020/1/6発行

特集

第14回宮古島市民総合文化祭
第15回生涯学習フェスティバル



第14回宮古島市民総合文化祭 工作部門



CONTENTS

- ・宮古島市総合博物館開館30周年



パニパニスクール

- ・第61回沖縄県中学校陸上競技大会
宮古地区代表上位入賞者



連載 文化財を巡る

『野城遺跡と野城式土器』



Topics

- ・宮古地区婦人連合会が
沖縄県社会教育功労表彰団体の部初受賞
- ・第49回沖縄県公民館研究大会宮古大会開催
- ・ブロック塀等安全対策事業
- ・下地中学校 沖縄県表彰生徒4人が市教育委員会へ報告



第14回 宮古島市民 総合文化祭



『創造する市民の文化』をテーマに第14回宮古島市民総合文化祭の作品展示会がJTAドームにて10月25日(金)～27日(日)の3日間にわたって開催されました。

会場には3日間あわせて約7,000名が来場し、多くの力作や、アイデア溢れる作品を楽しんでいる様子が見られました。



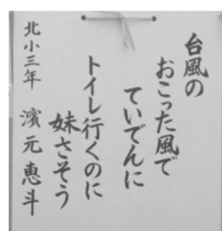
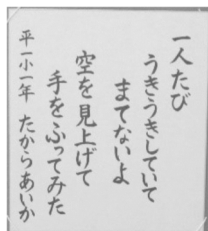
オープニングセレモニー

会場内の様子

作品展示会 書道部門



文芸部門



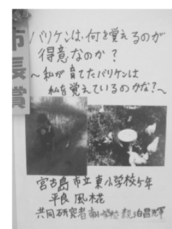
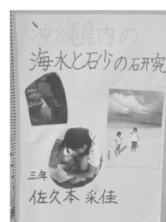
応募作品数 3,548点

書道	624点
美術	305点
俳句	1,210点
短歌	616点
作文	71点
詩	186点
自由研究	187点
工作	349点

美術部門



自由研究部門



第14回 宮古島市民総合文化祭 音楽祭



児童・生徒に音楽発表の場を与え、音楽を通して情操豊かな人間性を育て、市民文化の向上発展に役立てることを目的に第14回宮古島市民総合文化祭「児童・生徒の部」音楽祭が11月9日（土）にマティダ市民劇場にて行われました。

今回の音楽祭には、8の団体、342名の児童・生徒の出演があり、これまで一生懸命練習してきた合唱や合奏など14曲が披露されました。会場には、多くの来場があり、児童・生徒が奏でる素敵なハーモニーに盛大な拍手を送っていました。



第15回 宮古島市生涯学習フェスティバル



第15回宮古島市生涯学習フェスティバルが11月23日の午後から24日の2日間にわたって未来創造センターにて行われました。



23日は公民館講座の活動の様子や作品を展示し、数々の力作が多くの市民の目を引きました。

24日はパネル展示のほか、セグウェイ乗車体験、出張放課後子ども教室、軽スポーツなどの各種体験コーナーが設けられ、賑わいをみせました。午後には、開会式のあとに行われた教育功労表彰式で、平安英子さん、小川栄子さん、西原コーラス百合の会が受賞されました。舞台発表では、公民館講座やサークル合計18団体が日頃の活動の成果を披露し、多くの観覧者が見入っていました。



初めて未来創造センターで行われた宮古島市生涯学習フェスティバルは2日間を通して大勢の市民で賑わいをみせました。

宮古島市総合博物館

開館30周年記念式典



オープニングセレモニーで
「正月のあーぐ」を歌う與那城さん

宮古島市総合博物館は、1989(平成元)年11月1日に「平良市総合博物館」として開館し、2005(平成17)年の市町村合併により「宮古島市総合博物館」に名称を改め、今年で開館30周年を迎えました。

開館記念日の11月1日には、午前11時より博物館正面玄関前にて開館30周年記念式典を催し、アトラクションでは博物館友の会会員の與那城美和さんに宮古の古謡「正月のあーぐ」の歌詞を抜粋して歌っていただきました。続いて、くす玉開花を行い、出席者からは祝福の拍手がおくられました。

式典後には、同日より開催した「宮古の宝 三十選展」の観覧会を行い、見学者らは普段展示されていない資料に興味津々の様子で、学芸員の解説に耳を傾けていました。

収蔵品数
2万3,000点

博物館キャラクター
モーリーくん



開館30周年記念特別展示

宮古の宝 三十選展

宮古島市総合博物館では、11月1日(金)から12月22日(日)までの期間、博物館開館30周年記念特別展示「宮古の宝 三十選展」を開催しました。

博物館は約2万3,000点の資料を収蔵しており、その中から30周年にあわせて「30」点(件)の資料を選定し、一堂に展示しました。これらの資料は国・県・市指定の文化財や常設展示の見どころ資料、宮古を代表する作家の作品などで、宮古が誇る宝を一目見るために、多くの市民の方々が訪れました。

